

別紙 審査基準

評価項目		着眼点	評点	配点
地域の概要・実施主体に関する評価	地域の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・地域課題や資源が事業と明確に結びついているか。 ・事業実施の必要性・緊急性が地域特性から説明されているか。 	5：地域課題が明確で、事業との結びつきが <u>極めて強く</u> 、解決への寄与度も高い。 4：地域課題への理解が深く、事業が <u>課題解決に大きく貢献</u> する可能性が高い。 3：関連性は理解できるが、課題の緊急性や資源の活用が <u>標準的</u> である。 2：地域課題の分析が不十分で、事業の <u>必要性・貢献度が不明確</u> である。 1：地域課題の分析が曖昧で、 <u>地域の特性やニーズに合致していない。</u>	5 点
	実施主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・事業遂行能力（実績、専門性、体制）があるか。団体の活動目的と本事業との一貫性があるか。 	5：確かな <u>実績と専門性</u> があり、実行体制に <u>十分な信頼性</u> がある。 4：体制は整っており、 <u>類似事業経験</u> から実行能力は高いと見込める。 3：体制は整っているが、 <u>特筆すべき実績や専門性</u> には欠ける。 2：体制図や役割分担の説明が不十分で、 <u>事業遂行能力に懸念</u> が残る。 1：実績に乏しく、 <u>リソースや役割分担が不明確</u> で実行性が低い。	5 点
	申請額／総事業費	<ul style="list-style-type: none"> ・申請額、総事業費は適正かつ妥当か。 ・費用対効果（コストパフォーマンス）が見込めるか。 	5：見積もりが詳細で <u>妥当性が極めて高く</u> 、高い <u>費用対効果</u> が見込める。 4：費用対効果は高いが、 <u>一部費目の積算根拠</u> について更なる説明が望ましい。 3：費用の妥当性は概ね認められるが、 <u>一部積算根拠の説明が不十分</u> である。 2：費用対効果の検証が弱く、 <u>高額費用の妥当性</u> に疑問がある。 1： <u>積算根拠が不明瞭</u> な費目が多く、効率的な運用が期待できない。	5 点
	事業内容に関する評価	<ul style="list-style-type: none"> ・目的が具体的かつ明確か。 ・公的資金を投じるに値する公益性・社会貢献性が高いか。 	5：目的が <u>具体的で計測可能</u> であり、 <u>極めて高い公益性</u> がある。 4：目的は明確で公益性も高いが、 <u>定量的指標（KPI）の設定</u> がやや弱い。 3：目的は理解できるが <u>やや抽象的</u> で、目標達成度が測れる指標が弱い。 2：目的が広範囲に及びすぎ、 <u>事業の焦点が定まらない</u> 。 1：目的が <u>漠然としすぎ</u> ており、事業完了後の成果が不明である。	5 点

評価項目		着眼点	評点	配点
事業の評価 (波及効果・革新)	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・活動計画の具体性・実現可能性があるか。 ・目的達成のための手段として適切か。 	<p>5:スケジュールとタスクが<u>詳細で実行可能</u>であり、目的達成への<u>最適な手段</u>である。</p> <p>4:計画は具体的で実現可能性も高いが、<u>リスク管理や対応策</u>が未記載である。</p> <p>3:計画は概ね実現可能だが、<u>重要なプロセスや手順</u>の説明がやや不足している。</p> <p>2:活動内容の説明が不十分で、<u>目的達成の手段として適切か疑問</u>が残る。</p> <p>1:計画に<u>不確実性が高い</u>。プロセス不足で主要な目標達成が困難と見込まれる。</p>	5 点
	PRポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の魅力や独自性が伝わるか。 ・審査員に響くメッセージか。 	<p>5:地域の特徴を<u>ユニークな切り口</u>でPRしており、<u>高い話題性</u>が期待できる。</p> <p>4:PR ポイントは具体的で訴求力も高いが、<u>競合との差別化</u>がやや弱い。</p> <p>3:PR ポイントはあるが、<u>他の類似事業との差別化</u>要因が弱くインパクトに欠ける。</p> <p>2:PR ポイントが曖昧で、<u>訴求力があるか疑問</u>が残る。</p> <p>1:PR ポイントが<u>一般的</u>で、特筆すべき魅力やアピール力が弱い。</p>	5 点
	効果	<ul style="list-style-type: none"> ・定量的・定性的な成果が期待できるか。 	<p>5:<u>定量的指標が明確</u>で、地域外への<u>極めて大きな波及効果が</u>期待できる。</p> <p>4:期待効果は大きいが、<u>測定・検証する具体的な手法</u>の説明が弱い。</p> <p>3:期待効果は認められるが、成果が<u>定性的なものに偏り</u>、指標設定が弱い。</p> <p>2:期待効果の根拠が弱く、事業規模に対して<u>成果が限定的</u>となる可能性が高い。</p> <p>1:効果が<u>主観的</u>で、成果を<u>測定・検証する視点</u>が欠落している。</p>	5 点

評価項目		着眼点	評点	配点
	継続性・発展性	・地域外への波及効果が見込めるか。	<p>5: <u>収益化モデルや企業連携</u>など、自立的な<u>継続プランが具体的</u>で将来性が高い。</p> <p>4: 継続へのビジョンは明確だが、<u>具体的な収益源や財務計画</u>の詳細説明が求められる。</p> <p>3: 継続意欲は示されているが、<u>具体的な財源確保や発展の道筋</u>が不明確。</p> <p>2: 継続の意思はあるが、<u>収益性の見通しが立っておらず</u>自立展開は困難と見込まれる。</p> <p>1: <u>補助金頼みの計画</u>であり、事業終了後の<u>継続性が全く見込めない</u>。</p>	5 点
	モデル性	・他の地域や団体が参考にできる要素があるか。	<p>5: 課題解決手法が<u>体系化</u>され、<u>汎用性の高いノウハウ</u>を生み出すモデル性が極めて高い。</p> <p>4: 課題解決の手法に優位性があり、<u>一部の地域や分野</u>へ横展開できる可能性が高い。</p> <p>3: 一部参考要素はあるが、<u>地域特性への依存度が高く</u>、横展開には課題がある。</p> <p>2: 成果は地域内で完結するものが主で、<u>他地域への参考事例となるには不十分</u>である。</p> <p>1: 地域特性に強く依存しすぎており、<u>他地域での応用が困難</u>である。</p>	5 点
	新規性	・新規性があり、汎用性の高いノウハウを生み出すか。	<p>5: <u>最新技術の活用</u>など、従来にない<u>独創的なアプローチ</u>で革新性が極めて高い。</p> <p>4: 既存課題に対する<u>着眼点がユニーク</u>で、新しい手法やサービスを取り入れている。</p> <p>3: 既存の手法を一部改良するなど、<u>ある程度の工夫</u>は見られるが、突破口となるほどの新規性はない。</p> <p>2: 既存の事業や活動と<u>大差ない内容</u>で、革新的な要素がほとんど見当たらない。</p> <p>1: <u>既存の活動の焼き直し</u>に過ぎず、新規性や革新性が全く感じられない。</p>	5 点

特別考慮すべき事項がある場合：最大2点加減